

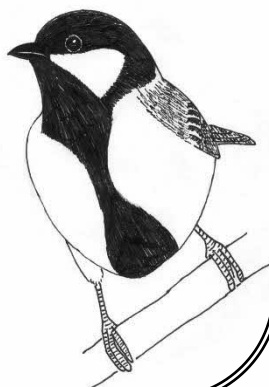
1年中見られる森の小鳥たち

シジュウカラ 四十雀 15cm

ほおが白く、のどからおしりにかけて、黒いすじがあるのが特徴です。オスの方がメスより太く、見分けるポイントになっています。

首のうしろがきれいな黄色い色をしているのも目立ちます。

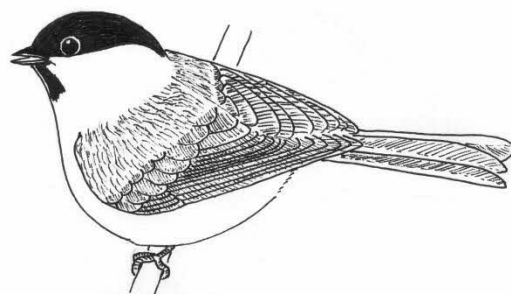
枝から枝へうつりながら、チョウやガの幼虫、卵、クモなどをさがして食べます。ツープ・ジュクジュクという声でなくことが多いです。



ハシブトガラ 嘴太雀 13cm

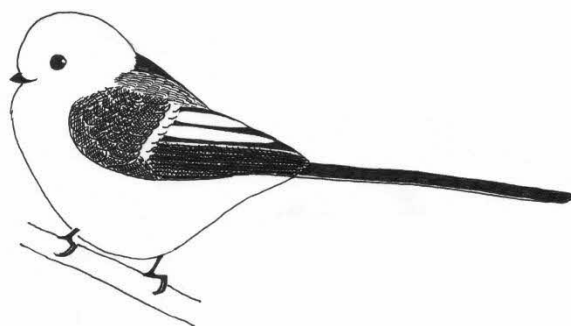
シジュウカラによく似ていますが、黒いすじがないので見分けることができます。枝や葉にぶらさがったり、地上におりたりして虫やクモなどをさがして食べます。

ウトナイの森ではもっともふつうに見られる小鳥です。



エナガ (シマエナガ) 柄長 13cm

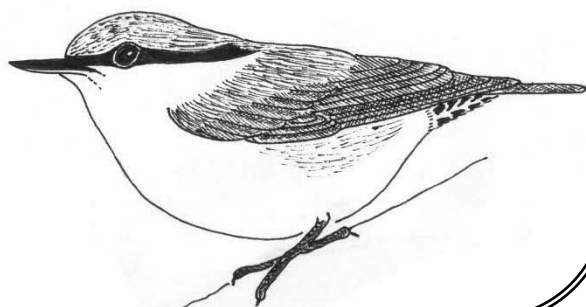
尾羽がたいへん長く、顔が白い、とてもかわいらしい小鳥です。群れになることが多く、20羽以上になることもあります。枝うつりしながら、枝や葉にぶらさがったり、幹にとまったりしながら小さな虫をさがして食べます。鳥獣保護センターのまわりにも、群れでよく姿をみせてくれます。よくひびく、チーチーチーという声でなきます。



ゴジュウカラ 五十雀 14cm

あたまから羽、尾羽まで青っぽい灰色をしており、目のところに黒いすじがあるのが特徴です。木のみきに、下向きにとまることができ、まるで忍者のように木を歩きまわりながら、虫をさがして食べます。

くちばしが少し上にそっていて、木の皮をめくってえさをさがすことができます。



アカゲラ 赤啄木 23cm

ウトナイの森にすむキツツキ類の中で、もっともよく見かける鳥です。背中と羽は黒く、白いはん点があり、おしりのところが赤いのがめだちます。オスはあたまのところにも赤いはん点があります。

枯れ木をつついて、虫をさがして食べます。木にとまる時には、足とかたくてとがった尾羽で体をささえます。

